



平成 26 年 1 月 23 日

各 位

上場会社名 第一工業製薬株式会社  
代表者 代表取締役社長執行役員 大柳 雅利  
(コード番号 4461)  
問合せ先責任者 取締役上席執行役員  
総合企画本部長 赤瀬 宜伸  
(TEL 075-323-5822)

## 新工場建設に関するお知らせ

当社は、三重県四日市第3コンビナート内(三重県四日市市霞1丁目)に新工場を建設することを決定し、“未来作りの城”として再編に取り組みます。

### 1. 会社の概要と建設への経緯

当社は、1909 年の繊維用界面活性剤の生産から始まり、2009 年 4 月に創業百周年を迎えました。界面化学の技術を元に裾野を広げ、多様な産業分野へ製品や技術を供給してまいりました。グローバル化が進み企業の存続と成長が問われる今日、保有する基礎技術の応用、また新規事業のための設備投資を行うことが必要と判断しました。

三重県には、石油化学工業が集積し、自動車、電子・電気、医薬などに加え大学までを擁する産業クラスターが存在します。この地域特性は、当社が効率的な研究開発や実証を行うには最適な環境です。三重県四日市第3コンビナート内に確保した用地で、成長の礎となる戦略拠点づくりに取り組みます。

### 2. 新工場の事業概要

新工場は、商品の製造・開発の実証工場とし、企業価値を高める集合基地を目指します。

再編の第一段階となる今回は、環境・エネルギー分野を対象とします。市場の伸長が見込まれる燃料電池用部材、電子基板用絶縁材料については合理化を行い、増産を図ります。また、社会インフラの補修や公表された新計画に係るトンネル工事用固結剤の生産能力を強化します。

新規事業として経済産業省から支援を得た、セルロースナノファイバーの応用技術や用途開発を加速させます。このセルロースナノファイバーは、進行中のパイロットプラントで実証を完了し、次の拡大ステップに入る予定です。

更に今後需要が増加する、次世代電池の新素材開発を進める計画です。工業用薬剤メーカーとして、まず国内市場で優位性を持つ商品開発に努め、海外展開への基盤を築きます。市場動向を確認しながら、いわゆる「マザー工場」としての機能を順次、高めていきます。

- (1)工場名: 四日市事業所 霞工場
- (2)所在地: 三重県四日市市霞1丁目23番2、23番5
- (3)敷地面積: 100,000 m<sup>2</sup>
- (4)従業員数: 約100名(予定)
- (5)総投資額: 約120億円(建物、設備)
- (6)生産品目: 機能性樹脂材料および電子材料関連製品
- (7)操業開始: 2015年9月(一部・予定)

以 上